

令和4年度進行管理・評価シート
堺市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）

（最終変更 令和4年3月7日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1(項目名) 歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取組み 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1(項目名) 都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1(項目名) 百舌鳥古墳群整備事業 3

2(項目名) 歴史的建造物保存修理事業 4

3(項目名) 市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み 5

4(項目名) 堺市地域文化遺産活用活性化事業 6

5(項目名) ボランティアガイドの育成・支援 7

6(項目名) 堺市地場産業振興事業補助事業 8

7(項目名) 堺市伝統産業後継者育成事業補助事業 9

8(項目名) まちなみ再生事業 10

9(項目名) 百舌鳥古墳群に関する情報発信 11

10(項目名) 環濠都市区域内における案内板の改善 12

11(項目名) 史跡・重要文化財等公開事業 13

12(項目名) 学校教育の場での茶の湯体験 14

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1(項目名) 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定 15

2(項目名) 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業 16

3(項目名) 文化財の防災 17

4(項目名) 埋蔵文化財の取扱い 18

5(項目名) 文化財に関する普及・啓発の取組み、
民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み 19

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 20

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1(項目名) 文化観光拠点における展示の充実による魅力の向上 21

2(項目名) 環濠都市堺の魅力発信による意識醸成 22

3(項目名) 自転車タクシー走行実験の実施 23

4(項目名) 「SAKAI散歩」の実施 24

5(項目名) 民間事業者主導によるシェアサイクルの導入の検討 25

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 26

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

重点区域について、景観計画の取組みと連携し、歴史的風致の維持向上を図る。地域特性を踏まえた景観形成基準を策定し、都市計画法や景観法に基づく各種手法を活用するほか、景観重要建造物の指定や屋外広告物のあり方などを検討するなど、きめ細かい景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

百舌鳥古墳群及び周辺区域において、世界文化遺産登録も視野に古墳のあるまちとして相応しい景観づくりの一環として、平成28年に高度地区による「建築物の高さ制限」、景観地区による「建築物の色彩などの形態意匠の制限」、屋外広告物条例による「屋外広告物の大きさや高さ等の制限」を実施した。

以後、建築物については、景観地区の認定申請を通して建物の色彩等の調和を図り、屋外広告物については、同区域における既存不適格広告物の適正化に向けた補助金制度を活用するなど、早期適正化に向けた取組みを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観地区認定申請件数

景観地区認定申請件数						
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計
申請件数	62	52	54	59	43	270

○屋外広告物適正化件数

百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の適正化(件数)								
	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計
補助金活用	2 (1)	4 (4)	9 (9)	11 (6)	9 (4)	3 (2)		38 (26)
自費改修	3 (1)	8 (2)	16 (2)	16 (1)	2 (0)	4 (0)	3 (0)	52 (6)
計	5 (2)	12 (6)	25 (11)	27 (7)	11(4)	7(2)	3 (0)	90 (32)

※()は屋上広告物の適正化件数を示す。補助金制度は令和3年度で終了


○屋外広告物適正化事例



屋上広告物の撤去



自立広告塔の改修

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	国宝・重要文化財等保存整備費補助金(歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業)		
計画に記載している内容	百舌鳥古墳群の整備基本計画及び保存管理計画を策定し、古墳の整備及び修景、並びに適切な維持管理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
いたすけ古墳や長塚古墳において樹木伐採など環境整備事業を実施し、墳丘の保護と視認化を図った。このことにより各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られる。御廟表塚古墳では、整備に向けた樹木伐採を実施した。また「史跡百舌鳥古墳群保存活用計画」を策定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
いたすけ古墳樹木伐採等業務(令和4年6月)			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域において、歴史的街なみを構成する上で重要な鉄砲鍛冶屋敷(井上家住宅)をはじめとした歴史的価値の高い建造物について保存修理を行い、活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○堺市指定有形文化財井上関右衛門家住宅(鉄砲鍛冶屋敷)保存修理工事が完了した。 ○堺鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家文書の調査を継続して実施 ○整備に向けてクラウドファンディングによる寄付を募集(令和4年9月20日から12月18日) 38件 ○堺鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家パネル展を開催(9月21～26日、10月11日～16日、11月5日～9日) ○令和4年6月25・26日 第2回鉄砲鍛冶屋敷 瓦記名会 参加者 約40名 ○令和4年10月23日 堺鉄砲鍛冶屋敷ミュージアムシンポジウム 参加者 117名 これらを実施することにより各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○鉄砲鍛冶屋敷保存修理工事			
			
主屋・座敷棟 東面 竣工		主屋・座敷棟 西面 竣工	
			
道具蔵・体験展示棟(鍛冶場) 竣工		附属棟・俵倉竣工	

○鉄砲鍛冶屋敷 瓦記名



記名の様子



鉄砲鍛冶屋敷・保存修理工事について
パネル展示・スライドショーで紹介



記名瓦を葺いている様子



記名瓦が葺かれた主屋仕上場

令和4年度 堺市と関西大学との地域連携事業

堺鉄砲鍛冶屋敷 ミュージアム シンポジウム

令和4年10月23日(日)
午後1時～午後4時30分
関西大学千里山キャンパス
関大ソシオAV大ホール
(吹田市山手町3丁目3-35)
阪南千早線「関大駅」下車、
北谷社口・北谷出口より徒歩約5分。
南谷社口・南谷出口より徒歩約5分
(エスコーター有)

定価 200円
オンライン配信あり

クラウドファンディングを実施!

講師・パネリスト

第一部 上みのえる火縄銃

講師① 丸の刃物油と鉄砲油
講師② 現代科学からみた鉄砲用油の魅力
講師③ 「CGで描く火縄銃」

パネリスト 藤田 賢 丸山 肇 井上 俊二 (井上 謙三)

主催 堺市・関西大学

シンポジウム広報ポスター

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 古墳を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、地域住民を中心に市民の理解と協力が必要である。そのため、市ではシンポジウムや講演会を開催し、百舌鳥古墳群や各々の古墳について市民が学び、考える機会を創出する。また、市民ボランティアが中心となって実施する古墳の清掃・美化活動について、ホームページへの掲載等の広報活動を行い、市民と行政が協働した保存管理に向けた相互の意識醸成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 世界遺産 百舌鳥・古市古墳群を親子でふれあうウォークラリー(堺ライオンズクラブに協力 於大仙公園) 令和4年5月22日(日)開催
- 親子でふれあうウォークラリー (堺ユネスコ協会・堺ライオンズクラブに協力 於:大仙公園)9月23日開催予定分、市民主体の清掃活動である仁徳陵をまもり隊による清掃活動が中止。
- 「百舌鳥古墳群魅力発掘講演会」令和5年2月18日(土)を開催。
- 「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群を応援する堺市民の会」と協働で世界遺産・百舌鳥古墳群 特別公開を開催。令和5年3月26日(日) 公開古墳:グワシヨウ坊古墳、旗塚古墳

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
 - 計画どおり進捗していない
- 新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、今後も保存管理の意識の醸成を図るため、古墳群の価値をより多くの方に理解していただけるよう、市民や民間事業者とさらに連携し、オンライン開催を含め、講演会やイベント等の開催方法の検討を進める。

状況を示す写真や資料等



令和5年2月18日(土)
 百舌鳥古墳群魅力発掘講演会
 —仁徳天皇陵古墳の最新調査成果—



令和5年3月26日(日)
 世界遺産・百舌鳥古墳群 特別公開
 —古墳に登ろう！古墳を学ぼう！古墳を楽しもう！—

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
堺市地域文化遺産活用活性化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 地域文化財総合活用推進事業

計画に記載している内容 伝統文化の保存伝承団体等により構成される「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」(事務局:堺市文化部)が、地域文化遺産の保存伝承を目的に事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域文化財総合活用推進事業

○地域伝統行事・民俗芸能等継承基盤整備(令和4年度)・地域の伝統行事等のための伝承事業(令和3年度補正予算)記録作成事業としては、だんじりの修理過程や曳行の様子を記録に残し、後継者養成事業では、講習会等により技術や歴史文化の継承につとめた。上神谷地域伝統文化用具等整備事業など合計24事業を実施することにより、地域の伝統文化継承の基盤を整備し、地域の伝統文化を一層活性化させることができた。

「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」構成団体(令和4年度)

- ・船待神社神楽子供獅子保存会・美多彌神社流鏝馬保存会・堺式手織緞通技術保存協会
- ・開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会・石津神社秋季例大祭保存伝承実行委員会
- ・湊地域伝統文化保存伝承実行委員会・久世地区秋祭り実行委員会・陶荒田神社文化財推進実行委員会
- ・八田荘地域伝統文化保存継承実行委員会・深井地域文化遺産総合活用推進実行委員会
- ・大鳥大社鳳地区地車祭礼実行委員会・日部神社祭礼保存伝承実行委員会・津久野地域伝統文化保存継承実行委員会
- ・菱木神社保存伝承実行委員会・多治速比売神社神賑行事保存会・上神谷地域伝統文化保存継承実行委員会
- ・美木多地域伝統文化保存継承実行委員会・金岡町 金太会・百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化保存伝承実行委員会
- ・堺市美原区広国神社秋祭り実行委員会・菅原神社八朔祭伝統文化保存伝承実行委員会

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない



状況を示す写真や資料等



百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化後継者養成事業の様子
(令和4年6月25日撮影)



菱木神社保存伝承用具等整備事業でのだんじり修理の様子
(令和4年8月18日撮影)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
ボランティアガイドの育成・支援		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成7年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	(公社)堺観光コンベンション協会、NPO法人堺観光ボランティア協会と連携し、歴史文化資源を中心に市内の主な観光スポットでボランティアガイドが案内を行っている。 今後、本市の歴史文化資源に関する市内外への発信等に伴い、来訪者の増加も見込まれることから、更なるボランティアガイドの育成や、月1回程度の情報交換会の実施、新たな施設の実地研修などを通じて、その知識や技能の向上に向けた取り組みを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
研修・勉強会等の実施により、ボランティアガイド全体の知識や技能が向上したほか、来訪者対策の充実が図られた。 ○研修・勉強会 第3回全体研修会「堺市の古墳について」(2月) 第2回全体研修会「アルフォンソ・ミュシャってどんな人」(9月) 第1回全体研修会「明治期の堺について」(7月)(中止) 人権を含むマナー研修(7月) 博物館研修(6月)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
【堺観光ボランティア協会研修・勉強会風景】			
			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
堺市地場産業振興事業補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	刃物や線香をはじめとする地場産業を営む中小企業者により組織された団体の事業活動にかかる経費の一部を補助することにより、地場産業の振興を図る。 【補助対象事業】 ①地場産業振興事業 ……経営の近代化及び合理化に関する事業、販路の開拓に関する事業、各種情報の収集に関する事業 ②ものづくり基盤技術継承事業…後継者の育成に関する事業、技術・技法の記録、収集及び保存に関する事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
刃物、線香など市内地場産業5団体に対し、本補助金を交付し、事業活動を支援。イベントなどの開催を通して、地場産業のPR及び販路の拡大が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-start;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>○堺線香まつり</p>  </div> <div> <p>○市内施設等での地場製品の展示</p>  </div> </div>			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
堺市伝統産業後継者育成事業補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 刃物(経済産業大臣指定伝統的工芸品)や線香(大阪府知事指定伝統工芸品)などの伝統技能の継承を図るため、後継者を雇用した事業者に人件費の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内伝統産業事業者に対し、本補助金を10件(12名)交付し、後継者育成を支援。このことにより、「もののはじまり何でも堺」に象徴される伝統の継承と振興が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○刃物製造技法の指導育成



○染色(注染)技法の指導育成



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
まちなみ再生事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域のうち、改修が進められた町家歴史館「山口家住宅」をはじめとする町家のほか、多くの寺社が立地する寺町など、歴史的建造物が多く残る北部とその周辺(堺環濠都市北部地区)について、歴史文化資源を活かしたまちなみの再生を図ることにより、堺の魅力向上を実現する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

協議会との協働により、協議会ニュース(vol.33、34、35、36)を発行したほか、町なみ再生シンポジウムや町なみ再生イベント週間での展示、まち歩きイベント等により、地域の歴史的なまちなみ保全、形成に向けた意識醸成が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○令和4年度の機運醸成等の取組み

令和4年度の実施(公民協働の実施)	
令和4年5月	第11回総会開催
令和4年6月	協議会ニュースvol.33発行
令和4年10月	協議会ニュースvol.34発行 町なみ再生シンポジウムⅡの開催 「歴史的景観の技術とデザイン～『都市』の記憶の再生に向けて～」 町なみ再生イベント週間 「町家と環濠～よみがえる環濠都市の景観～2」の展示 昔・町なみ歩こうイベント<「町割(まちわり)を歩く①」>
令和5年1月	協議会ニュースvol.35発行
令和5年3月	堺環濠都市北部地区伝統的家屋調査報告会開催 協議会ニュースvol.36発行

・協議会ニュース vol.33、vol34、vol35、vol36



・町なみ再生イベント週間の開催(令和4年10月28日～11月3日)



撮影日: 令和4年11月2日



撮影日: 令和4年11月2日

○令和4年度の修景事業

(改修前)



撮影日: 令和3年9月27日



(改修後)



撮影日: 令和5年3月22日

【おもな修景内容】

屋根瓦葺き替え、外壁の土壁及び杉板貼り替え、開口部木製格子取付、木製建具に取り替

堺環濠都市北部地区修景事業件数						
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計
修景事業件数	4	2	4	3	2	15

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群に関する情報発信		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 百舌鳥古墳群を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、市民はもちろん、国内外にその価値と魅力を情報発信していく必要がある。①インターネットによる情報発信 本市のホームページにおいて百舌鳥古墳群の価値や魅力をCGなども活用し紹介する。②シンポジウムや講演会の実施 市民向け講演会や、海外からの有識者を招きシンポジウムを開催するなど、百舌鳥古墳群の価値や魅力を紹介する。③パンフレットやポスターによる情報発信 他言語によるパンフレットを作成し、関西国際空港での配架をはじめ、ポスターも作成し、様々な場所でPRを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

以下の事業を進めることで歴史豊かな堺の都市魅力の発信と共有に繋がった。
 ○本市ホームページを活用し、タイムリーな情報発信をおこなった。
 ○各種団体、民間企業と連携したPRの実施
 ・令和4年11月19日(土)「全国古墳サミット」を開催(百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議と連携 於:フェニーチェ堺)
 ○PRちらしやポスターを作成し、PR効果が見込める場所に配架・掲出を行った。
 ○スマートフォン向けの周遊支援アプリを運営。
 ○令和3年3月にオープンした百舌鳥古墳群ビジターセンターを運営。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

世界遺産登録が実現し、今後は、古墳群の価値と魅力や、維持・保全に向けた啓発を市内のみならず、府内はもとより、関西、全国へ行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



百舌鳥古墳群ビジターセンター外観



令和4年11月19日(土) 全国古墳サミット

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
環濠都市区域内における案内板の改善		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 神社や寺院を中心に設置している既存の施設案内板について、見やすさや分かりやすさなどに配慮した案内板とするため、表示内容の見直しや多言語化を行い、歴史文化資源などの魅力発信と目的地への円滑な移動を誘導する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

既存の施設案内板や誘導案内板について、見やすく分かりやすい状態を維持するため、定期清掃・点検を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【施設案内板】



【誘導案内板】



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
史跡・重要文化財等公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～
 支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 非公開の史跡や重要文化財の公開等を実施し、また歴史文化についての講座を開催し、広く市民に文化財の普及啓発を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

これまで春季と秋季に実施していた文化財特別公開を、堺の魅力ある歴史・文化・伝統だけではなく、若い層を含め幅広い年代に関心をもっていただく集客イベントとするため、「紐とけば堺」としてリニューアル実施。

『紐(ひも)とけば堺 秋旅 ～ものの始まりなんでも堺を体感しよう～』令和4年11月19日(土)、11月20日(日)

■コンセプト

国内現役最古の車両「モ161」を運行する阪堺線を軸として、阪堺線沿線の堺発祥にちなんだスポットを巡り、体感いただくことを通じて、堺の「ものの始まり」を紐とき幅広い年齢層に堺の魅力を発信する。

■概要

伝承も含めて堺が発祥の地として「ものの始まりなんでも堺」といわれている主なものをテーマに、阪堺電車や無料周遊バスでめぐる体験型イベント。

・体験スポットをまわるスタンプラリー／町家歴史館山口家住宅でのこいのぼりタペストリー作り体験／妙法寺での「ものの始まり」についての講和／大安寺の重要文化財の本堂・障壁画の特別公開／南宗寺の茶室「実相庵」の特別公開 など

『紐(ひも)とけば堺 春旅 ～すべての道は堺に通ず～』令和5年3月25日(土)、26日(日)

■コンセプト

日本最古の官道である「竹内街道」をはじめとした、堺を通る五つの街道にアクセスしやすい「さかい利晶の杜」を起点に様々な取組を実施することで、堺の街道の魅力を紐とく。

■概要

①移動の起点となるさかい利晶の杜で、街道の歴史を紐とく。学芸員解説「堺の五街道を知ろう!」、パネル展、ワークショップを開催。

②バスで街道スポットを紐とく(車中で街道沿いの観光スポットを観ボラが解説)

③街歩きで街道にまつわる歴史を紐とく(街道沿いに見学体験スポットを設定)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



「紐(ひも)とけば堺 秋旅
 ～ものの始まりなんでも堺を体感しよう～」
 チラシ



「紐(ひも)とけば堺 春旅
 ～すべての道は堺に通ず～」
 チラシ

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
<p>学校教育の場での茶の湯体験(堺スタンダード事業)</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	千利休生誕の地・堺に育つ子どもたちが「茶の湯」の体験を通じて、自国の伝統文化を知るとともに、茶道において大切にされている「もてなしの心」や人とのかかわり方を学び、豊かな心を育むことをねらいとして「茶の湯体験」を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度は小学校91校、中学校27校、支援学校2校で茶の湯体験を実施。 令和元年度は小学校92校、中学校37校で茶の湯体験を実施。 令和2年度は小学校70校、中学校28校で茶の湯体験を実施。 令和3年度は小学校30校、中学校11校で茶の湯体験を実施。 令和4年度は小学校44校、中学校13校で茶の湯体験を実施。 伝統文化に触れる機会を創出し、茶の湯への理解と意識の醸成を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス感染拡大をに伴い、体験施設の休館や感染対策を徹底しての体験が難しい状況ではあったが、継続して取り組んだ。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 指定および登録等の候補となる文化財に関する調査を継続する。市域の文化財の総合的な把握をより推進するとともに、文化財指定等を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○「住吉大社宿院頼宮の祓神事(荒和大祓神事)」を堺市指定無形民俗文化財に指定(令和4年12月16日)
 ○「北村古壘(陶器城跡)」を堺市指定有形文化財に指定(令和4年12月16日)
 ○「史跡百舌鳥古墳群保存活用計画」を策定予定(令和5年3月)
 ○令和3年に登録された小倉家住宅(洋館)の保存修理工事を実施
 ○堺市指定文化財の新規指定に向けて、建造物等の文化財調査
 これらを進めることで、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用に繋げた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



住吉大社宿院頼宮の祓神事(荒和大祓神事)の様子



北村古壘(陶器城跡)本丸跡東辺の堀

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 町家等の歴史的建造物を指定の基準に沿って歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等の意向や建造物の損傷状態の調査を行い、保存・修理・修景に対する助成を行う。
 百舌鳥古墳群では、平成28年度より整備基本計画の策定に着手し、古墳の修景や復元等の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

以下の事業を進めることで文化財への理解を深め、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られた。
 「百舌鳥古墳群整備事業」(再掲:評価軸③-1:P3を参照)御廟表塚古墳にて整備に向けた樹木伐採を実施した。
 「歴史的建造物保存修理事業」(再掲:評価軸③-1:P4を参照)
 「まちなみ再生事業」(再掲:評価軸③-1:P10を参照)
 「環濠都市区域内における案内板の改善」(再掲:評価軸③-1:P12を参照)

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



御廟表塚古墳(樹木伐採後)



井上関右衛門家住宅(鉄砲鍛冶屋敷) 竣工

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の防災		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財を災害から保護するため、防災意識の高揚、防災設備等の整備を図り、住民、文化財の所有者又は管理者等に対する防災意識の普及と啓発を進めるとともに、消防局並びに関西電力株式会社、大阪ガス株式会社と連携を行い、定期的に防災設備の保守点検等や啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーの実施

○令和5年1月25・26日 指定文化財寺社等28箇所

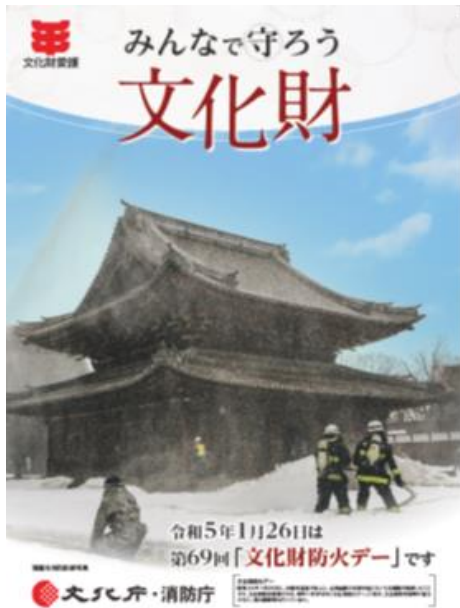
○国宝桜井神社拝殿、重要文化財高林家住宅主屋ほか3棟の防災施設整備事業を実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和4年度「第69回」文化財防火デー
ポスター



第69回文化愛防火デー査察の様子
(令和5年1月25日)
法雲寺山門・天王殿・大雄宝殿・開山堂・方丈・鎮守堂



第69回文化愛防火デー査察の様子
(令和5年1月25日)
重要文化財海会寺本堂庫裏及び門廊

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
埋蔵文化財の取扱い		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発行為の実施にあたっては、開発に伴う文化財保護法に基づく届出又は通知の提出を徹底するとともに、開発に際して埋蔵文化財を確認した場合には、工法の検討や、計画変更によって埋蔵文化財の地下保存などの措置を協議し、遺構の保護に努めるほか、やむを得ない場合は、記録保存などの対応についても速やかに実施していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

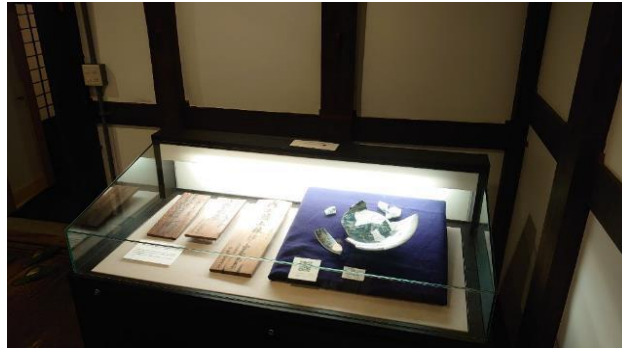
重点区域内には堺環濠都市遺跡や大山古墳、ミサンザイ古墳等の各古墳、陵西遺跡などの埋蔵文化財包蔵地があり、開発に対しては、文化財保護法による届出または通知に基づき適切に指導している。
令和4年度は、堺環濠都市遺跡から出土した陶磁器等の遺物を、堺市立町家歴史館にて展示した。
これらを通して、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



町家歴史館 山口家住宅での展示の様子(令和4年8月17日～令和5年1月4日)



町家歴史館 清学院での展示の様子(令和5年1月5日～)

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組み、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本市の文化財の価値を広く後世に伝えるため、文化財の活用を進めながら、観光ボランティアガイドをはじめとする各種団体等と連携を行い、普及・啓発するための機会の提供に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「歴史的建造物保存修理事業」(再掲:評価軸③-1:P4を参照)鉄砲鍛冶屋敷の瓦記名会、シンポジウム、パネル展を開催した。 「市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み」(再掲:評価軸③-1:P5を参照) 「堺市地域文化遺産活用活性化事業」(再掲:評価軸③-1:P6を参照) 「ボランティアガイドの育成・支援」(再掲:評価軸③-1:P7を参照) 「百舌鳥古墳群に関する情報発信」(再掲:評価軸③-1:P11を参照)全国古墳サミットを開催した。 「史跡・重要文化財等公開事業」(再掲:評価軸③-1:P13を参照)「紐解けば堺秋旅」において登録有形文化財筒井家住宅・小倉家住宅の一般公開を実施した。 その他、重要文化財高林家住宅において、保存活用の取組(落語会、年中行事体験会)を実施。 これらの取組を通して歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の一層の発信と共有に繋がった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○堺鉄砲鍛冶屋敷ミュージアムシンポジウム(令和4年10月23日開催)			
		シンポジウム動画をオンデマンドで配信 (令和4年11月1日～令和5年1月9日)	
			
○鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家パネル展			
			
鉄砲鍛冶屋敷近辺のショッピングモールで開催したパネル展 (令和4年9月21～26日)	市内のショッピングモールで開催したパネル展 (令和4年10月11～16日)	さかい利晶の杜で開催したパネル展 (令和4年11月5～9日)	



令和4年11月19日(土) 全国古墳サミット



紐解けば堺秋旅パンフレット



筒井家住宅一般公開(令和5年3月25日)



小倉家住宅一般公開(令和5年3月26日)



高林家住宅 落語会
(令和4年11月12日)



高林家住宅 年中行事(精進料理)体験会
【令和4年度大阪府文化財保存活用プロジェクト
重文民家高林家に伝わる年中行事の食を体験】
(令和4年12月4日)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道(主な記事の抜粋)

報道等タイトル		評価対象年度 年月日	令和4年度 掲載紙等
百舌鳥古墳群周辺区域関連	View+ こんな古墳、アリ!? 堺・七観音古墳	令和4年4月14日	毎日新聞
	古墳からたどる日本の源流 謎つきぬ七五三論争 5世紀 仁徳天皇陵古墳	令和4年5月2日	産経新聞
	「百舌鳥」後の古墳 どう変化 堺市博物館で企画展	令和4年6月5日	朝日新聞
	単眼複眼 大山古墳 地元社会との共存 提に2列の埴輪 ■少ない後世の遺物 大事に守ってきたからか	令和4年7月7日	朝日新聞(夕)
	大山古墳の気球 試行めどたたず ヘリウムガス不足	令和4年7月17日	朝日新聞
	手作り埴輪 思い思いに 世界遺産3年催し 百舌鳥・古市古墳群	令和4年7月30日	読売新聞
	ふとん太鼓 3年ぶりの熱気 堺の百舌鳥八幡宮	令和4年8月13日	産経新聞
	堺ご当地ナンバー案決定 百舌鳥と古墳 来年10月頃交付	令和4年11月25日	読売新聞
	古墳の活用・保存 情報交換 堺でサミット第3弾 発掘成果など報告	令和4年11月26日	読売新聞
	【THE古墳】そもそも天皇陵って何? Z世代への正しい伝え方	令和4年11月30日	産経ニュース
	上から目線で古墳を堪能 百舌鳥古墳群 万博見据え 集客プラン続々	令和4年12月23日	産経新聞
	大山古墳 最新調査結果を報告 堺で2月講演会	令和4年12月29日	朝日新聞
	怪獣、桃太郎…強い味方 全国古墳サミット 上 異色キャラ	令和4年12月22日	産経新聞(夕刊)
	戦争・開発…破壊機器乗り越え 全国古墳サミット 下 都市部に残る遺産	令和5年1月12日	産経新聞(夕刊)
共生と破壊 暮らしの隣に スポットと世界遺産 百舌鳥古墳群	令和5年1月26日	朝日新聞(夕刊)	
環濠都市区域関連	いいね! 探訪記 ドカンと誕生ものづくりの街 堺鉄砲館(堺市堺区)	令和4年4月2日	朝日新聞(夕刊)
	利休生誕500年 茶道熱く ゆかりの品展示・高校生茶会 「わび茶」を大成	令和4年4月3日	読売新聞
	中世の堺 VR探訪 利休の茶の湯体験も きょうから利晶の杜	令和4年4月7日	読売新聞
	堺の逸品 親しみやすく 伝統産業会館 改装オープン	令和4年4月14日	読売新聞
	現役最古の電車 通常運行 GW期間中 阪堺電車「モ161号」	令和4年4月26日	産経新聞
	巨大真鯉 町家ゆうゆう 堺・山口家住宅	令和4年5月6日	読売新聞
	茶聖あり 千利休生誕500年 番外編 本当の屋敷跡は… 利休にたずねよ地下に眠る茶室や庭園の遺構	令和4年6月7日	産経新聞
	「モンハン」の太刀、実物大で 刀鍛冶ら3人の技で再現	令和4年7月9日	日経新聞
	利休の古里 茶に親しみ 来月26日、堺でイベント	令和4年8月22日	読売新聞
	注染手ぬぐい 涼しげ 堺で29日まで展示	令和4年8月25日	読売新聞
	ぶんかのミカタ 今に生きる千利休 下 感性と視野 生誕地・堺の誇り	令和4年8月27日	毎日新聞(夕刊)
	大茶会 和やか「堺まつり」きょうまで	令和4年10月16日	読売新聞
堺庖丁 一貫生産の新工房 職人技と自動化を融合 職人確保に課題	令和4年10月28日	日経新聞	
その他	手ぬぐい 揺らめいて 堺で製作最盛期迎える	令和4年4月7日	産経新聞(夕刊)
	ひとり 風切る楽しさ 感じて「自転車のまち」堺で発信 シマノ自転車博物館事務局長 長谷部雅幸さん	令和4年4月20日	毎日新聞
	大阪発刊70年 茶の湯の歴史 名碗でたどる 10~12月 京都で特別展	令和4年7月12日	読売新聞
	堺大魚夜ー オンラインで 神事動画やクーポン配信	令和4年8月2日	読売新聞
	「大阪・堺を発信」知事と市長会見 来年のG7貿易相会合	令和4年10月1日	朝日新聞
	観光ガイド 堺の魅力伝える 川上浩さん(堺市)	令和4年10月18日	読売新聞(夕刊)
	堺-堺東駅に自動運転車 東西交通網 充実へ 市、11~13日 走行実験	令和4年11月9日	読売新聞
	木造駅舎 住民ら憩う場に 辰野金吾設計、堺に1907年建築 高架化移設でカフェ・図書館	令和4年12月17日	日経新聞(夕刊)
堺の伝統産品 売り込み強化 7品目追加 来月から東京で販売	令和5年1月13日	朝日新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致の維持及び向上に記載される事業が行われ報道されることで、市民の歴史的風致に対する関心・認識が高まり「歴史遺産の保存・活用」への啓発に寄与していることが推察される。			
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

文化観光拠点における展示の充実による魅力の向上

計画に記載している内容
本市が文化振興のために収集してきた美術コレクションのなかから、テーマに即した作品を展示し公開する。所蔵作品展を開催することで、市民をはじめ多くの方々に広く美術作品に親しみ、文化芸術に関する知識や理解を深めていただく機会とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○企画展

・「茶のうつわー堺環濠都市遺跡から出土した名品ー」(令和4年9月17日～10月16日)

○イベント

- ・茶の湯イベント「千家十職茶会」(令和4年5月21日)
- ・講談『茶の湯戦国記』連続読み(令和4年6月18日、7月2日・16日、8月13日)
- ・全3回連続講座「お茶碗作りとお点前体験」(令和4年7月31日、8月11日・21日)
- ・『亭主』となって茶会をひらこう！(令和4年9月23日)
- ・さかい焼ってなんだろう？(令和4年10月15日)
- ・第49回堺まつり 利休のふるさと堺大茶会【立礼席・野点席・茶室広間】(令和4年10月16日)
- ・お茶室でティーパーティをひらこう！(令和4年10月29日)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

・企画展については、堺環濠都市遺跡から出土した織部焼、楽焼や磁器などの茶器を中心とした歴史的発掘物の展示を行い、中世の堺の繁栄や茶の湯文化が根付いた当時の社会を紹介した。
・茶の湯に関する小・中学生を対象とした事業を複数回実施し、お茶をより身近に感じてもらうとともに、堺の歴史・文化への理解を深める機会を創出する。

状況を示す写真や資料等

○イベントパンフレット



企画展「茶のうつわー堺環濠都市遺跡から出土した名品ー」



「講談『茶の湯戦国記』連続読み」



連続講座「お茶碗作りとお点前体験」



「『亭主』となって茶会をひらこう！」
(立礼茶席「南海庵」)

さかい焼ってなんだろう？

開催日程：令和4年10月15日(土)
会場：さかい利品の社 茶室広間

情報展示

- ・時 間：10:00-18:00
- ・料 金：無料
- ・場 所：茶室広間

定価席

- ・時 間：10:00-11:15 / 14:00-15:15 / 16:00-17:00
- ・料 金：全300円
- ・定 員：高座12名
- ・申 込：不要、当日出席

さかい利品の社
堺市堺区南瓦町1-4-1 TEL:072-296-4388 <http://www.sakai-bonsei.com/>

「さかい焼ってなんだろう？」

お茶室で / ティーパーティをひらこう！

開催日：2022年10月29日(土)

お気軽に人のお茶のお湯煎やお茶を飲んで、オリジナルお茶をコーディネートしよう！

- ・時 間：午前の部：10:00-11:15 / 午後の部：14:00-15:15
- ・場 所：茶室広間(茶室)
- ・講 師：三井物産(さかい利品の社事務局)
- ・参加費：600円(抹茶・お茶碗)
- ・対 象：小・中学生以上(中学生以上)
- ・定 員：高座12名
- ・申 込：不要、当日出席

●お問い合わせ・お申込み

お名前(フリガナ) _____
お名前(漢字) _____
〒 _____ 市 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号 _____
TEL _____ FAX _____
E-MAIL _____

「お茶室でティーパーティをひらこう！」

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

環濠都市堺の魅力発信による意識醸成

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
市民への情報発信、あるいは“堺で育まれてきた歴史・文化資源”に触れる機会の創出などに取り組み、市民の意識醸成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

堺環濠エリアの歴史文化の継承とともに新たな魅力を創出し、生活する人も訪れる人も愛着が持てる活気ある堺の実現に向けて、本市と地域のまちづくり団体等で構成される「堺環濠町づくり協議会(通称:環濠茶論)」を平成29年3月に設立した。これまで協議会事業としてSNSを活用した情報発信やイベントの開催など、堺環濠エリアの認知度向上や市民意識の醸成に向けて取り組み、歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有を図ってきた。

今年度は、環濠の水辺や公園、通りなどの公共空間を、人々が集まり、憩い、多様な活動を繰り広げられるような場へと転換していく取組(公共空間利活用)として、公民連携で環濠パブリックワークショップおよび社会実験2022in環濠エリアを実施した。

また、来訪者が情報を得ながら回遊を楽しめるスポット説明映像制作や、地域の施設や店舗と連携した環濠-CAN GO-橋わたしフェスを実施した。

○令和4年度の取組

- ・令和4年7月 第1回堺環濠町づくり推進協議会総会・勉強会 開催
- ・令和4年8月 第2回堺環濠町づくり推進協議会総会 開催
環濠パブリックワーキンググループ 開催
- ・令和4年10月 第1回環濠パブリックワークショップ 開催
- ・令和4年11月 社会実験2022in環濠エリア 実施
- ・令和5年2月 第2回環濠パブリックワークショップ 開催
- ・令和5年3月 第3回堺環濠町づくり推進協議会総会 開催
環濠-CAN GO-橋わたしフェス 開催
スポット説明映像制作

○Instagram 令和4年度投稿数:47、令和4年度リーチ数:46,322、フォロワー数:864 (令和5年3月時点)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



環濠-CAN GO橋わたしフェス マップ



スポット説明映像



第1回環濠パブリックワークショップの様子



社会実験2022in環濠エリアの様子

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

自転車等による回遊性の向上(1)(自転車タクシー走行実験の実施)

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
数多くの来訪者が堺の歴史や文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○自転車タクシー観光周遊は、堺観光コンベンション協会が令和3年3月より運営を開始している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○自転車タクシー観光周遊の様子等(令和2年度の様子)



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目
自転車等による回遊性の向上(2) (「SAKAI散走」の実施)

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
数多くの来訪者が堺の歴史・文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付
散歩するようにゆっくりと自転車で、点在する名所や旧跡などを巡る「SAKAI散走」を実施することにより、堺の歴史・文化に触れる機会の創出や、まちを巡ることによる回遊性の向上及びまちの賑わいに寄与した。
○動画配信により自転車を活用した堺の魅力発信を実施(主催:堺 自転車のまちづくり・市民の会)
○新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「SAKAI散走アンバサダー養成講座」を中止。今後の開催方法としてWeb上での開催等を検討中。
○「SAKAI散走」は堺 自転車のまちづくり市民の会の主催により3回(うち1回は雨天により中止)、堺市中心市街地活性化協議会の主催により3回開催した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

- ・継続した取組を進めるための組織作り
- ・「SAKAI散走」をはじめ様々なイベントを企画・実施できる人材育成

状況を示す写真や資料等

●秋の環濠SAKAI散走 (令和4年11月27日)



●堺 自転車のまちづくり 動画配信

項目

自転車等による回遊性の向上(3)(民間事業者主導によるシェアサイクルの導入の検討)

計画に記載
している内容

「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」

数多くの来訪者が堺の歴史や文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

シェアサイクルとは、複数のシェアサイクルポート(自転車の貸出・返却拠点)を設置し、利用者がどこのポートでも貸出・返却できるシステム。

世界遺産の百舌鳥古墳群や旧市街地・環濠エリアなど堺の歴史・文化を自転車で周遊できるようポートを設置することにより回遊性を高め、堺の魅力発信やまちの賑わい創出に寄与した。

令和2年3月 シェアサイクルポート21か所の実証実験開始

令和4年10月 本格運用開始

令和5年3月末現在 シェアサイクルポート127か所設置

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

・回遊性向上に向けたポート設置場所の検討及び利用促進の周知

状況を示す写真や資料等

○令和2年3月10日 堺市シェアサイクル実証実験開始



↑【御陵前交差点ポート】



【JR百舌鳥駅前東口ポート】→

↓【ポルトラス堺(堺駅西口)ポート】



↓【堺市役所前ポート】



評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 堺市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和5年3月2日	
<p>(コメントの概要)</p> <p>■ 第1期の成果および第2期の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期10年間で、堺市民の歴史まちづくりへの意識・関心が非常に高まったと感じる。コロナ禍でかなり行動制限がかかった中でも市民等が熱心に取り組まれたことは、今後に対して大きく期待できる。 ・大工業都市だった堺が、本来の歴史文化都市に大転換したことは、すごくグローバルな価値を持つ。歴史まちづくりを考えるよい機会になっていたらよいし、世界遺産登録というのはそういう方向で働いたと思う。歴まちで果たした成果を、何かOUVとの関連でうまく説明できるようなことができるとうい。 ・歴史・文化的資源の保存に注視するだけでなく、堺市全体の生活環境や歴史的風致が向上することにつながるということが大きな目的だという認識をもっと全面的に出す必要がある。それによってシビックプライドが獲得できたり、誇りに思えるようなまちづくりが展開していくことを期待する。 ・個々のコンテンツが様々な文化・歴史的資源と合わさった1つの町のストーリーをどう作っていくか、発信できるかということが大事だと思う。 ・少子化や担い手不足の問題がある一方で、若い人たちの歴史に対する価値観やモノの見方が変化し、ポテンシャルは上がっており、興味を示したり、積極的に情報発信してくれる世代。伝統産業や伝統行事の担い手の世代交代の中で、若い人たちがまちづくりに関心を持ってきている動きもうまく捉えながら、守ることとつくることをうまく融合させる取組であってほしい。それが生活環境の向上や、観光のみならず様々な交流につながっていくと思う。 ・歴史的風致の維持だけではなく、新たに作り込む創造があつて向上が展開していくという視点を捉え、生きた風景、生活の中に溶け込んだ良好な風致とはどういうことかということを目標に据えて展開していくことが大事。 <p>■ 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堺市所有であるいたすけ古墳を、周辺を含めて、今後どう整備していくか。市民の意思・活動で守られ、世界遺産を果たしたということが伝わるような標識、ガイダンスのあり方が見えてくるとよい。堺の独特な歴史まちづくりは堺市民の手で行われているというふうに、大阪府全体の世界遺産の取組とは書き分けていただきたい。 ・歴史的風致形成建造物については、これから守っていくべき民間所有の建物もリストに挙げて、市として支援し、面的に展開していくことも重要。 ・令和4年度の都市景観賞で「町家と線路」が大賞となったことは、大道筋の町家を市民が大事にしているということ。歴史的な資源だけではなく、今の町の中でどういう見え方があるかという、まちなみの視点に広げていくことで、効果が評価しやすくなるのではないか。 ・百舌鳥も環濠も、この景観(ビスタ)を守りたいという強いメッセージが今後出せるようになればよい。 ・電動自転車の活用によって、バスと同等移動距離が伸び、周遊環境の強化ができることを期待する。 ・コロナ禍において動画配信等の試みが見られたが、これまでのリアルな取組に、次の10年はバーチャルを加えていくとよいのではないか。 ・都市観光の良さは、その都市が持っている歴史的層性と、その今の暮らしや、環境の良さが重要なので、そういう評価の視点も入れていってほしい。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期で残された課題をふまえて、第2期計画(令和5年度～14年度)において、引き続き各歴史的風致を維持・向上するための取組を進めていく。 	